

CASBEE_Sapporo2014v1.2 ル・ケレス宮の沢ガ・フロント		重点評価項目				■A:省エネルギー ■B:省資源 ■C:緑化 ■D:雪処理			
スコアシート		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄			
配慮項目	重点評価項目				建物全体・共用部分	重み係数	住居・宿泊部分	重み係数	全体
	A	B	C	D					
Q 建築物の環境品質									
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音									
1.2 遮音									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 星光利用									
3.2 グレア対策									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
4.2 換気									
4.3 運用管理									
Q2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1.2 心理性・快適性									
1.3 維持管理									
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
2.2 部品・部材の耐用年数									
2.4 信頼性									
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり									
3.2 荷重のゆとり									
3.3 設備の更新性									

CASBEE_Sapporo2014v1.2 ル・ケレス宮の沢ガ・フロント		重点評価項目				■A:省エネルギー		■B:省資源		■C:緑化		■D:雪処理	
スコアシート		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		A	B	C	D	評価点		重み係数		評価点		重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)													
1 生物環境の保全と創出				C			2.0		0.30		-		-
2 まちなみ・景観への配慮				C			3.0		0.40		-		-
3 地域性・アメニティへの配慮							2.5		0.30		-		-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					D		2.0		0.50		-		-
3.2 敷地内温熱環境の向上			B	C			3.0		0.50		-		-
LR 建築物の環境負荷低減性							-		-		-		-
LR1 エネルギー							-		0.40		-		-
1 建物外皮の熱負荷抑制		A				断熱性能の高い断熱材の使用、中住戸(角住戸以外)の計画をしている。	5.0		0.20		-		-
2 自然エネルギー利用		A					3.0		0.10		-		-
3 設備システムの高効率化						BEI 非住宅 ー 住宅(専有部) 0.92	4.0		0.50		-		-
集合住宅以外の評価(3a.3b)		A					4.0		1.00		-		-
集合住宅の評価(3c)		A				日本住宅性能評価5-1、一次エネルギー消費量共、基準を満たしている	4.0		1.00		-		-
4 効率的運用							3.0		0.20		-		-
集合住宅以外の評価							4.0		-		-		-
4.1 モニタリング		A					3.0		-		-		-
4.2 運用管理体制		A					3.0		-		-		-
集合住宅の評価							3.0		1.00		-		-
4.1 モニタリング		A					3.0		0.50		-		-
4.2 運用管理体制		A					3.0		0.50		-		-
LR2 資源・マテリアル							-		0.30		-		-
1 水資源保護							3.0		0.20		-		-
1.1 節水							3.0		0.40		-		-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用							3.0		0.60		-		-
1 雨水利用システム導入の有無							3.0		0.70		-		-
2 雑排水等利用システム導入の有無							3.0		0.30		-		-
2 非再生性資源の使用量削減							3.0		0.60		-		-
2.1 材料使用量の削減			B				2.0		0.10		-		-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			B				3.0		0.20		-		-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			B				3.0		0.20		-		-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			B				3.0		0.20		-		-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			B				2.0		0.10		-		-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			B			乾式耐火間仕切り壁の採用、吹付け断熱材等比較的分別が容易である。	4.0		0.20		-		-
3 汚染物質含有材料の使用回避							4.4		0.20		-		-
3.1 有害物質を含まない材料の使用							3.0		0.30		-		-
3.2 フロン・ハロンの回避							5.0		0.70		-		-
1 消火剤			B				-		-		-		-
2 発泡剤(断熱材等)			B			ノンフロン発泡剤を使用している。	5.0		1.00		-		-
3 冷媒			B				-		-		-		-
LR3 敷地外環境							-		0.30		-		-
1 地球温暖化への配慮			B				3.0		0.33		-		-
2 地域環境への配慮							2.5		0.33		-		-
2.1 大気汚染防止			B				3.0		0.25		-		-
2.2 温熱環境悪化の改善			B	C	D		2.0		0.50		-		-
2.3 地域インフラへの負荷抑制							3.0		0.25		-		-
1 雨水排水負荷低減							-		-		-		-
2 汚水処理負荷抑制							3.0		0.33		-		-
3 交通負荷抑制							3.0		0.33		-		-
4 廃棄物処理負荷抑制			B		D		3.0		0.33		-		-
3 周辺環境への配慮							2.5		0.33		-		-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止							-		-		-		-
1 騒音							-		-		-		-
2 振動							-		-		-		-
3 悪臭							-		-		-		-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制							2.3		0.67		-		-
1 風害の抑制							2.0		0.70		-		-
2 砂塵の抑制							3.0		-		-		-
3 日照障害の抑制							3.0		0.30		-		-
3.3 光害の抑制							3.0		0.33		-		-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策							3.0		0.70		-		-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策							3.0		0.30		-		-